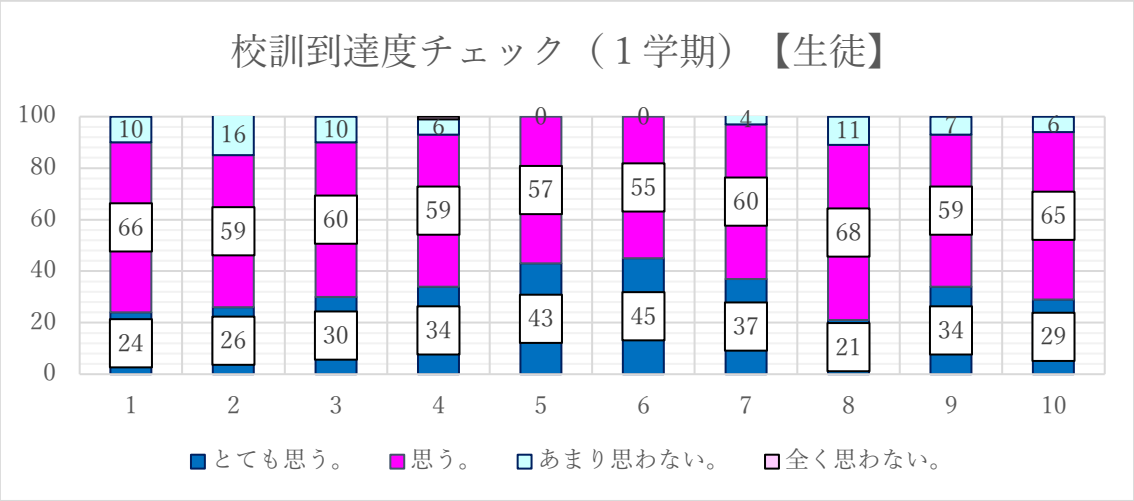

１学期の分析

学期末になり、生徒及び先生にも『校訓到達度チェック』を行いました。
質問形式は、生徒には『私は～。』先生には、『生徒たちは～。』とすべて主語は『生徒』となっています。数字は、肯定意見（「とても思う。」「思う。」）の割合％で表示しています。

校訓	目　　標　　観　　点	生徒評価	教師評価
自	1　規律ある生活を送ることができた。	９０	９２
	②　自分の考えを、しっかりと表現することができる。	８５	100
	3　自分に合った目標を設定し、自分の役割を果たすことができた。	９０	８４
律	4　自分に合った目標を設定し、学力定着のために計画的に努力できた。	９３	８４
共	5　他の違った意見や考え方を尊重できた。	100	100
	⑥　思いやりをもって調整できた。	100	100
生	7　他と協力し、安心して思う存分に活動することができた。	９７	100
創	⑧　伝統を活かし、あるいは、前例にとらわれなく工夫できた。	８９	８４
	9　活動結果をしっかりと受け止め、その成果を明らかにできた。	９３	100
造	10　今後の活動の改善策を整理できた。	９４	８４

※　○は今年度の重点目標です。

【生徒調査】
・学校教育目標・校訓・10 項目の目標観点と生徒自身には浸透しつつあると感じます。
・全項目に渡り好評価になり、**５傾聴・６調整力の項目に関しては 100%**という結果となりました。１学期の中での学級活動（専門部等）や部活動、教科や総合的な学習の時間などの中でのグループ学習の成果だと考えられます。
・重点目標の一つで伝統的な課題である**２人前力の項目がやや低い結果**となった点や**４学力定着の項目で「全く思わない。」と評価する生徒**の存在などが今後の課題です。

【教師調査】
・全体的に概ね良好と判断しています。特に、**『共生』に関する項目**では、さまざまな課題はあるものの生徒の自ら取り組もうとする姿勢が評価されたと考えます。
・**目標を設定し、工夫しながら、改善する力**に関しては、今後の課題であるのと同時に、夏休みに向けてじっせんすべきこと考えています。

※全体の傾向は分かりますが、生徒の自己評価能力を含め**個人差が大きい点**や教員数が少ないために**一人の回答で割合に大きく影響**する点を考慮してください。

【保護者の皆様へ】

７月１９日(金)付けに配布した「校訓到達度評価（1 学期）について」を参考に、保護者の皆様の評価を７月 31 日（水）までにお願いします。

結果は、学校通信に掲載するとともに、２学期からの指導に役立てていきたいと考えています。よろしく御協力ください。